

少数台数のリコール届出の公表について（令和8年6月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和8年6月は11件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのもの1件については、こちらへの記載はしておりません。

1. 日野自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月3日	5826	車名：日野 型式：BDG-FR1EXYG 他 通称名：日野プロフィア 他	12台	平成15年11月11日 ～ 平成22年7月5日
不具合の部位等				
交換修理用部品のサプラインポンプにおいて、表面処理工程が不適切なため、部品強度が不足しているものがある。そのため、高負荷運転の繰り返しにより亀裂が生じ、燃料漏れに至るおそれがある。				

2. 横浜車輛工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月9日	5794	車名：いすゞ 他 型式：2DG-EW6ELH 他 通称名：ギガ 他	15台	令和5年11月30日 ～ 令和8年1月7日
不具合の部位等				
中間フェンダーステアにおいて、強度検討が不十分なため、走行振動により亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進展して破断し、最悪の場合、当該フェンダーステアが脱落して、他の交通を妨げるおそれがある。				

3. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月9日	外4171	車名：ランドローバー 型式：3CA-LE72WAB 他 通称名：DEFENDER 110 他	83台	令和7年11月4日 ～ 令和8年3月23日
不具合の部位等				
3列目シートベルトを取り付けるアンカーブラケットにおいて、スタッドボルトの溶接工程が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、衝突等で大きな荷重を受けた場合、当該ボルトが折損してシートベルトが外れ、乗員を拘束できなくなるおそれがある。				

4. 株式会社ロジスネクスト

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月17日	5799	車名：ユニキャリア 他 型式：EBT-F197 他 通称名：H1F4 他	23台	平成21年3月30日 ～ 令和6年6月11日
不具合の部位等				
フォークリフトの排気管において、設計検討が不十分なため、素材の強度および加工精度が低く、フロントチューブの強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、フロントチューブが破損し、排気ガスが漏れるおそれがある。				

5. トライアンフモーターサイクルズジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月19日	外4204	車名：トライアンフ 型式：8BL-PSJ1200 通称名：スピードリプルRX	46台	令和7年2月26日 ～ 令和7年5月2日
不具合の部位等				
騒音ラベルにおいて、製造時の確認が不十分なため、スロットル全開加速の開始時の平均車速が誤った値となっている。そのため、協定規則第41号の技術的な要件に適合しない。				

6. Stellantis ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
6月25日	外4203	車名：フィアット 他 型式：3DA-K9FYH01L 他 通称名：ドブロ 他	95台	令和8年1月27日 ～ 令和8年2月7日
不具合の部位等				
エンジンのウォーターポンプにおいて、プーリーの設計検討が不十分なため、プーリーとシャフトの嵌合が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プーリーが外れてタイミングベルトがゆるみ、エンジン警告灯が点灯し、最悪の場合、エンジンが停止するおそれがある。				

7. 株式会社豊田自動織機

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月29日	5831	車名：トヨタ 型式：EBT-8FG18 他 通称名：トヨタジェネオ	78台	平成11年3月30日 ～ 令和6年12月4日
不具合の部位等				
エンジン式フォークリフトのLPG圧力計が搭載される車両において、当該圧力計設定時の設計確認が不十分なため、仕様以上の圧力が繰り返し加わると、指針ずれが生じ、実際の燃料量と圧力計の表示が一致せず、燃料が多く表示される。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、燃料切れにより走行不能に至るおそれがある。				

8. 株式会社豊田自動織機

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月29日	5835	車名：トヨタ 型式：ZAF-8FB18 通称名：トヨタジェネオーB	11台	令和1年7月9日 ～ 令和5年2月3日
不具合の部位等				
電動式フォークリフトにおいて、設計指示が不適切なため、走行用前照灯が即時に手動により停止できない。そのため、灯火器の技術基準を満足せず、保安基準に適合しない。				

9. 日本トレクス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月30日	5840	車名：UDトラック 他 型式：2PG-CG5CA 他 通称名：クオン 他	3台	令和3年7月20日 ～ 令和6年3月21日
不具合の部位等				
バン型トラックのリヤコンビネーションランプにおいて、当該ランプの取付指示が不適切なため、尾灯または後部反射器の取付位置が保安基準に適合しない。				

10. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
6月30日	外4205	車名：ランドローバー 型式：3CA-LK93WB 他 通称名：レンジローバー 他	9台	令和5年1月11日 ～ 令和7年11月14日
不具合の部位等				
サンルーフ用サイドモールにおいて、接着工程が不適切なため、接着力が弱いものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該サイドモールが剥がれて異音が発生し、最悪の場合、脱落して他の交通の妨げになるおそれがある。				

【参考】

●令和8年6月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	1 8（－4）	1 1（－8）	7（＋4）
輸入車	1 2（－1 6）	8（－1）	4（－1 5）
計	3 0（－2 0）	1 9（－9）	1 1（－1 1）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和8年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	15(+6)	9(-12)	24(-6)	65, 036(-77, 735)	32, 239(-7, 092)	97, 275(-84, 827)
5	11(-5)	15(-3)	26(-8)	85, 404(-54, 986)	11, 330(-12, 174)	96, 734(-67, 160)
6	18(-4)	12(-16)	30(-20)	826, 780(+684, 457)	7, 981(-30, 368)	834, 761(+654, 089)
小計	44(-3)	36(-31)	80(-34)	977, 220(+551, 736)	51, 550(-49, 634)	1, 028, 770(+502, 102)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 太田・藤坂 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42353）
--